

♣グリーン電力出資金出資者
♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

グリーンコープでんき通信 VOL.31



2020年1月27日発行
一般社団法人グリーン・市民電力

GCおおいた

自然電力(株)との交流を深めました。

～2019.12.2 国東第二自然電力太陽光発電所視察と交流会実施～

グリーンコープがすすめる自然エネルギーの発電所は、①自社事業 ②他団体との共同事業 ③他団体の発電事業に出資し発電する電気の半分をグリーンコープが使用できる権利を有する、という3つの形態があります。

③は、現在「自然電力(株)」が事業運営している、大分県国東市にある「国東第二自然電力太陽光発電所」と熊本県菊池市にある「菊池太陽光発電所」の2ヵ所です。当該地域の生協がそれぞれ関係しながら交流を深めています。

2019年12月2日に行われた、GCおおいた理事会メンバー(9人)と自然電力(株)の関係者(3人)との交流会の様子を紹介します。

■国東第二自然電力太陽光発電所施設概要

- ・定格出力…2400kW / ・パネル枚数…7740枚
- ・エリア面積…約35,000㎡
- ・稼働日…2015年12月

■当日は、まず太陽光発電所を見学しました。今回は、初めて発電所内に入って、自然電力の担当者から説明を受けました。除草の大変さ、イノシシなど野生動物の侵入など問題があるということでした。また、建設当初から、地域との関係づくりを丁寧に行っているため、2019年の台風による水の流入に対する心配の声にもきちんと対応できたとの報告がありました



「グリーンコープらしい太陽光発電所でした。地域のおまつりに参加したり、パネルの下草除草も自然環境に配慮して農薬を使わない、施設内に流入する雨水はため池に入り、農業用水に利用できるようにするなど、住民との関係や水環境に配慮したものでした。」

★GCおおいた理事(平和・環境委員長)
渡辺理恵さん

卒FITの取り組み進行中!

～家庭用太陽光発電をグリーンコープでんきに!

- 2019年12月から、九州エリアのグリーンコープ組合員へ、家庭用太陽光発電の余剰電力の買取りの案内し、1月9日現在で、134人の方から資料請求があり、現在検討しています。
- まだ検討中の組合員の方や、今年固定価格買取期間の満了を迎える方は、ぜひグリーンコープ買取プランのお申込みや資料請求をお願いします。
- 中国・関西エリアの組合員のみなさんにも準備が整い次第、ご案内します。しばらくお待ちください。

申込をされた組合員の声

脱原発をめざす私にとっての力強い味方はやっぱり信頼のおけるグリーンコープでんき! 自分のできることの実践として、早速申し込みました(^^) / <宗像市・上野恵美さん>

原発事故以来、1日も早い市民電力の立ち上げと電気の買い取り制度の導入を望んでいました。今回九電よりも1円高い価格での買い取りが実現し、努力に感謝です。

この運動が自分たちにとって最も身近な原発反対の取り組みに繋がることを信じ、より多くの組合員の参加を願っています。 <大野城市 福田 正三さん>

「原発フリー」をめざす“グリーンコープでんき”。それなのに、大手電力会社に支払う「託送料金（電線使用料）」には、原発に使われる費用が含まれています。それは不自然でおかしくないかと考え、九州電力にどうしてそうなるのか、お尋ねしています。そのお尋ねに関する進捗はありません。今後、取り組みがすすみ次第、その都度ご報告することにします。

27号からは、グリーンコープが訴訟に踏み出すことを決意した経過と脱原発への思い・願いが記された2019年度グリーンコープ共同体総会議案書「託送料金」からシリーズで紹介しています。

託送料金を問う～原発を無くしていくために～

…託送料金に含まれる問題を無くすために、裁判も辞さず、
たくさんの組合員や市民が話し合い、取り組んでいきます…

— vol.5 —

b. 2020年4月以降迅速に、エリア内の大手電力会社を被告として、「2つの新たな負担金を払わされるのは間違っている。その支払い分は返還してほしい。その債務は無いと確認を求める」と求める不当利得返還請求・債務不存在確認訴訟（※）。これに伴って、国に対してその結果の損害補償を求める国家賠償請求も考えられます。

※ 託送料金のうちおかしいものがあるという時、実際に託送料金を払っている相手（大手電力会社）にこれはおかしいと求めるのが関係の原則であることから、これが中心となります。

3) 裁判費用について。

a. 裁判費用は、ア) 裁判所への印紙手数料・イ) 弁護士報酬・ウ) 交通費やコピー等実費の3つです。アは数万円程度、ウは年に数十万円程度、イは着手金と成功報酬からなり、着手金は予想される労力と訴える額等、成功報酬は判決結果に応じて支払います。着手金のほうが最初に支出されますが、今後半年間検討を深めてその見積もりを確定します。ちなみに、福島民友新聞社裁判は弁護士2名で400万円でした。この検討は5人の弁護士と行っています。全員が関わって1名300万円となれば1,500万円になります。成功報酬は訴訟の判決が出た

場合に支払額を弁護士と協議して定めます。

b. 以上が一つの裁判です。一審（地方裁）だけでなく、高裁、最高裁となった場合でも、グリーン・市民電力やグリーンコープ自体の経営に打撃を与えるようなことにはなりません。

4) グリーン・市民電力の経営への影響について。

a. この訴訟に賛同する組合員・市民の方から裁判費用のカンパを得て、「支える会」を形成します。そうすることでグリーン・市民電力の経営への影響を減らし、組合員が主権者である意味を共有します。

b. この訴訟にあたって、ア) 新たな2つの負担金をグリーンコープでんき契約者に請求せずにグリーン・市民電力が負担しておく、イ) グリーン・市民電力が原告がこの負担に基づいて大手電力会社・国を訴える、とします。この負担金の負担分は、現時点、最大年間200万円強と見積もられます。それがグリーン・市民電力が負担しておく金額です。勝訴であれば戻ってきて、敗訴であれば戻ってきません。

・ 国が出している「賠償負担金」案は「1kwh0.07円。標準家庭（260kwh）で月18円位」となって

います。

・グリーン・市民電力契約者の電力使用量は、月平均240万kwh。年間2,900万kwhです。

(低圧) 3900件・1件当り 340kwh・計133万kwh。

(高圧) 52件・1件当り2万6百kwh・計107万kwh。

合計 240万kwh。

・賠償負担金試算は、月平均16万8千円。年間201万6千円になります。

(低圧) 133万kwh×0.07円
≒9万3千円。

(高圧) 107万kwh×0.07円
≒7万5千円。

合計 16万8千円。

なお、高圧契約の大半はグリーンコープ関係事業所なので、それを含めるかどうか等は、今後の検討によります。

・「廃炉円滑化負担金」のほうは、まだ内容も額も示されていません。

d. 以上をグリーン・市民電力の経営の中で支出していくことも可能です。グリーンコープでんき料金を値上したり、グリーン電力出資金を損なったりすることはありません。もちろん、これを支出する中でどのように経営を進めていくかの計画をつねに考えます。

e. 以上からグリーンコープ本体の経営への影響や、商品代金への転嫁などはありません。その上で、グリーンコープの組合員がつくったグリーン・市民電力の大きな動きであることから、今般、総代会でこれを議案として取り扱っています。

④今年に入って、各単協それぞれで、託送料金訴訟について詳しい学習会と意見交換を行なって、活発に、裁判の意味、反響や帰趨、メリット・デメリット、社

会的な連帯等の質問・疑問への応答や意見交換を行ってきています。その内容をまとめている後掲のQ&Aを参照ください。加えて、各単協・各地域の委員会やつどい、地域総代会での議論を重ねているところです。

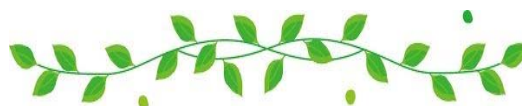
⑤以上にもとづき、本日、私たちは、2020年4月からの託送料金への賠償負担金と廃炉円滑化負担金の上乗せは違法であるとの裁判を行なうことを審議します。

⑥また、今後、託送料金検討委員会の中で5名の弁護士と1名の公認会計士を交え、具体的な訴状を今年中にまとめる検討を進めます。また弁護士費用等裁判費用も確定させていきます。2020年2月に、各単協臨時総代会と共同体臨時総会を開催し、それらの詳細をより丁寧に討議し、その確認を行ないたいと考えます。

四. この問題を考えることは、グリーンコープの今後に関わる大切な意味があると考えてきました。これからの取り組み方を組合員で話し合い、決めていくのもそのことによります。

I. まず、もしも原発が人の生命（いのち）と自然を脅かさないものであり、エネルギーとして本当に必要で費用が安くて人の暮らしを支えるものならば、誰も無くそうと思わないかもしれませんが、真実はそうではありません。その事実や情報は明らかにされません。それが明らかにされることが何より大切な一つです。

<次号に続く>



■グリーンコープでんき

- ・12月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、GC事業所、組合員契約件数、GC商品のお取引先も含め下表のとおりです。

生協名	GC事業所	組合員契約件数	容量(kW)
GC生協おおさか	8	49	243
GC生協ひょうご	10	23	172
GC生協とっとり	2	39	185
GC生協(島根)	1	78	356
GC生協おかやま	6	77	366
GC生協ひろしま	9	101	495
GCやまぐち生協	5	539	2,285
GC生協ふくおか	99	1,871	8,359
GC生協さが	17	107	662
GC生協(長崎)	11	152	713
GC生協くまもと	37	506	2,626
GC生協おおいた	17	264	1,203
GC生協みやざき	2	132	481
GCかごしま生協	13	202	944
単協計	237	4,140	19,089
G・市民電力(低圧)	34		256
G・市民電力(高圧)	62		4,539
総合計	333	4,140	42,972

■12月の電源構成

【関西電力エリア】

- ・神戸市環境局西クリーンセンター(燃料：一般ごみ)…100%

【中国電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー(燃料：バイオマス)…84.1%
- ・神戸市環境局西クリーンセンター(燃料：一般ごみ)…15.9%

【九州電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー(燃料：バイオマス)…84.2%
- ・福岡臨海工場(燃料：一般ごみ)…14.2%
- ・熊本県小国町の馬洗瀬小水力発電所と杖立温泉熱バイナリー発電所…1.6%

※グリーンコープでんきは、電源となっている発電所をすべて特定しています。

※グリーンコープでんきの電源には、原発由来の電気は一切含まれていません。

■メルマガ登録会員募集中！

自然エネルギーの発電所づくりやグリーンコープでんき、脱原発に関するさまざまな情報を月1回程度メールでお届けしています。



■市民発電所

- ・グリーン・市民電力の各発電所の2019年10月までの累計実績です。前年に比べて108,638kWh少ない発電量となっています。

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)
神在太陽光発電所	1,057	782,280	31,291,200
平池水上太陽光発電所	1,260	1,077,543	38,791,560
深年太陽光発電所	1,550	1,135,890	77,233,244
若宮物流センター	47	30,749	1,137,713
広島物流センター	47	35,414	1,310,318
やまぐち西部地域本部	54	43,079	1,421,607
グリーン未来ソーラ(10箇所)	244	285,201	5,989,221
合計	4,259	3,390,156	157,174,862

■グリーン電力出資金

- ・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、9億2,808万円になっています。
- ・出資目標額(積立目標額)は、12月24日現在で、11億1,678万円になっています。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
GC生協おおさか	208	234	17,370,000
GC生協ひょうご	96	116	8,296,000
GC生協とっとり	135	148	10,860,000
GC生協(島根)	243	254	12,370,000
GC生協おかやま	146	162	12,650,000
GC生協ひろしま	652	759	75,497,000
GCやまぐち生協	582	674	43,490,000
GC生協ふくおか	5,441	6,304	532,086,000
GC生協さが	322	360	44,685,000
GC生協(長崎)	574	631	55,863,000
GC生協くまもと	1,485	1,683	125,224,000
GC生協おおいた	781	869	69,618,000
GC生協みやざき	293	330	29,005,000
GCかごしま生協	712	808	79,766,000
合計	11,670	13,332	1,116,780,000

- ・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費に充てています。

- ・2019年12月末支出総額は8億4,881万円で、残高は7,927万円になっています。市民発電所の建設は、継続して調査や検討をすすめています。

これまで出資いただいた金額	928,088,000
これまで支出した事業と金額	848,810,221
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラ発電所、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、なわが小水力発電所(建設中)、しましま小水力発電所(準備中)、霧島太陽光発電所(建設中)、熊本菊池太陽光発電所、国東第二自然電力太陽光発電所	
グリーン電力出資金の残高	79,277,779